

## アメリカ留学レポート

情報文化学科 2年 清水 遥希

留学中は朝、昼、晩、学食で食べることがほとんどでした。行く前からアメリカの食べ物は大きいとか、ジャンクフードばかりというイメージをしていました。実際に行くと、ほぼイメージ通りでした。ピザやハンバーガー、フライドポテトなど油がすごいものや味が濃いものが多かったです。でも、ありがたいことにサラダバーやフルーツがあっただけのおかげで食事のバランスをとることができました。お米もあったのですがタイ米だったのでパサパサでした。料理の種類もたくさんありますが、デザートの種類も豊富でした。クッキーやケーキもありましたが、カラフルなよくわからないデザートや、真っ赤な色をしたゼリーなど日本にはないようなものがたくさんありました。私が食事のことで一番困ったのは、飲み物です。食堂には炭酸飲料、オレンジジュース、アップルジュースなど水以外甘い飲み物しかありませんでした。普段のどが渴いたときに、自動販売機やスーパーに行ってもお茶が売ってなくて本当につらかったです。何回も日本食やお茶が恋しくなりました。日本からの荷物が届いた時は嬉しかったです。白ごはんと味噌汁を飲んだ時は、本当においしすぎて感動しました。

初めてスーパーに行ったとき、サイズが大きいってことは知っていたけど実際に大きなポテトチップスを見たとき、アメリカにいるって実感しました。大きいのに値段は安くて驚きました。他にも、ユニークなお菓子がたくさんあり、売られているケーキはスポンジボブなどのキャラクターやお花などにデコレーションされていました。ケーキのスポンジの色がカラフルですごくユニークで見ているだけで楽しかったです。そして、スーパーのラーメンコーナーには日本製品のカップラーメンが売っていました。

ショッピングモールに行ったとき、フードコートに日本食と書いてある飲食店が何店かありました。アメリカでの日本食は、現地の人のお口に合うようにお米をテリヤキソースで炒める料理がほとんどでした。

食べたことない料理やユニークな食べ物がたくさんあって初めてなことばかりでした。でも、4か月間主食がお米ではないのはとてもつらかったです。

